

令和4年度 子ども議会 開催!!



菊池

題字 / 戸崎小学校 5年 松永 望さん

議会だより

9月定例会・10月臨時会 Contents

- 第3回定例会審議結果 4
- 委員会報告 5~11
- 15人が市政を問う! 12~19

トピックス

- 特集『子ども議会』 2~3
- 菊人形・菊まつり 20
- 菊池市議会ポートチーム 22~23

令和4年度 菊池市 子ども議会

令和4年8月5日、市内の5つの中学校から20名が出席し、子ども議会が開催され、一般質問の中で、5つの実現可能な提案がありましたので一部を要約して紹介します。

- ①「SDGsフェスティバルの開催」は、まず各小中学校の取組に関する実践発表の場を設けたい。
- ②「学校のバリアフリー化」は、今後、計画的に改修を進めたい。
- ③「18歳までの子ども医療費無償化」は、令和5年度から実施したい。
- ④「地域未来塾参加生徒のスクールバス利用」は、現在の利用を認めたい。
- ⑤「ホテル観賞のためのマップ作り」は、今後、生徒や地域住民と一緒に話し合いの場を重ねていきたい。

令和4年度菊池市子ども議会 議長 城 亜子(菊池南中学校)



【感想】議場に入って議長席に座らせていただいたり、実際に私たち中学生の意見を伝えさせていただいたり等、普通は経験できないようなことをたくさん経験できたことが、とても新鮮で楽しかったです。他の中学校から出た意見を聞くことができたのも、とても良い経験になったと思います。これを機に私も自分の学校や地域について、もっと考えようと思いました。私も将来、菊池市のためになることをしたいなと思います。

菊池南中学校

SDGs未来都市計画の達成のために市民広場の活用を

【感想】市長からも提案を実現させるといってお言葉をいただき、とてもうれしかったです。



前 亜里沙 小田 健慎

「森の学校きくち」の取り組みのさらなる発展のために

【感想】菊池のことをもっとよく知り、関心を持って、物事を考えていきたいです。



高松 伊織 古市 乃愛

七城中学校

学校のバリアフリー化で安全安心な学校生活を

【感想】他の4校の発表を聞いて、共感する話題や、思いもつけないような考えもありました。



今村 心 長塩 梨子

ネット環境の充実でよりよい学校生活を

【感想】自分や学校のことだけでなく、市や県のことにも関心を持って生活していきたいです。



中本 太一 中水流 輝



● 泗水中学校

スケートボードができる環境を！
安全性とモラル向上の実現に向けて

【感想】言っても変わらないではなく、『伝える』事の大切さを学べました。



北川 咲海 木下 逢音

子ども医療の改善で
安心安全な社会の実現

【感想】私たちが身の回りの変化に気づき、発言していくことが大切だと改めて実感しました。



後藤 勸太

● 菊池北中学校

誰もが安全・安心に避難できる
まちにするために

【感想】さまざまな視点を持ち、身近なことに関心を持てる人間になりたいです。



仲光 快斗 岩永 珠和

誰一人取り残さない学びの保障に
向けたスクールバスの利用について

【感想】子ども議会を通して、改めて、自信を持つことの大切さと、すごさに気がつきました。



越猪 陽 渡邊 千紘

● 旭志中学校

ふるさと旭志のよさを守り抜き、
自分たちの手で広めていくために

【感想】発言し終わった時には、とても達成感とやりがいを感じる事が出来ました。



青木 朝陽 三池 朱央

過疎化の悪化を防ぐために
私達ができること

【感想】議員の方がどんな気持ちで議会に参加しているのか等、直接感じる事ができました。



中尾 太音 永田 羅樹

この定例会では、令和4年度菊池市一般会計補正予算、令和3年度菊池市一般会計歳入歳出決算の認定、条例の制定など14議案が提案されたほか、議事1件、意見書案1件、請願1件、陳情2件、決議案1件、があり、慎重に審議しました。また、報告が6件ありました。

審議の結果、陳情第3号、決議案第2号を除き、原案のとおり可決・認定・採択しました。陳情第3号、決議案第2号は否決となりました。

開催日：8月31日（金）～9月30日（金）

主なものは以下のとおりです。

令和4年第3回定例会における主な付議事件一覧及び審議結果表

※ 賛否の分かれた議案のみを掲載しています。

| 議案番号 | 議案名 | 結果 |
|--------|-----------------------------------------------------------------|------|
| 議案第67号 | 令和3年度菊池市一般会計歳入歳出決算の認定について (P9～11に予算決算常任委員会での審査内容の一部を掲載しています) | 原案認定 |
| 議案第68号 | 令和3年度菊池市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 原案認定 |
| 議案第69号 | 令和3年度菊池市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 原案認定 |
| 議案第70号 | 令和3年度菊池市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 原案認定 |
| 陳情第2号 | 中小企業・小規模事業者支援に関する陳情 (P7に経済建設常任委員会での審査内容の一部を掲載しています) | 採択 |
| 陳情第3号 | 太陽光発電事業の開発における要望書 (P6に福祉厚生常任委員会での審査内容の一部を掲載しています) | 不採択 |
| 決議案第2号 | 菊池市議会議員定数検討特別委員会の設置に関する決議 | 原案否決 |

賛否表

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 欠は欠席 /は議長職時

※ 下記以外の議案は、全会一致で可決しました。

| 議案 | 議席番号 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
|--------|------|--------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | 結果 | 表決数 賛成 反対 | 本藤 | 安武 | 稲継 | 古田 | 島田 | 大山 | 田中 | 福島 | 緒方 | 後藤 | 平直 | 東奈 | 水上 | 猿渡 | 荒木 | 工藤 | 二ノ | 泉田 | 木下 | 山瀬 |
| | | | 潔 | 夫 | 智 | 浩 | 春 | 宝 | 教 | 英 | 哲 | 英 | 直 | 奈 | 津 | 上 | 渡 | 木 | 藤 | 文 | 栄 | 雄 |
| 議案第67号 | 可決 | 17対1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | / | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第68号 | 可決 | 17対1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | / | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第69号 | 可決 | 17対1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | / | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第70号 | 可決 | 17対1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | / | ○ | ○ | 欠 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 陳情第2号 | 採択 | 12対6 | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | / | ○ | ● | 欠 | ● | ○ | ○ | ○ |
| 陳情第3号 | 不採択 | 8対9 | ○ | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ● | ○ | ● | ● | ● | 棄 | / | ● | ○ | 欠 | ○ | ● | ○ | ● |
| 決議案第2号 | 否決 | 4対14 | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ● | ○ | ● | ● | ● | ● | / | ● | ○ | ● | 欠 | ● | ○ | ● |

総務文教常任委員会

委員長／後藤 英夫 副委員長／東 奈津子 委員／安武 睦夫 稲継 智康 島 春代 荒木 崇之 山瀬義也

可決

【議案第59号】

菊池市立体育館条例及び菊池市営グラウンド 条例の一部を改正する条例の制定について

【議案第75号】

財産の譲渡について

内容 企業誘致を進めていた旧河原小学校の財産譲渡に伴い、河原体育館及び河原グラウンドを社会体育施設として利用廃止することから、条例の一部を改正するものなど。

質問 体育館の利用は、地域と合意できているか。

答弁 合意できている。

質問 今回の業者選定は公募か。

答弁 公募ではなく、問い合わせがある中で交渉を進め、今回に至った。

質問 最終的な金額が約550万円となった段階で公募すれば、他にも応募があったのではないか。



旧河原小学校

答弁 施設は、解体予算を計上していたが、地元説明会で、解体ぎりぎりまで誘致をしてほしいと要望があった。今回、誘致を逃したら、次はないと判断し、この業者と交渉していった。地元にも説明し了解をいただいている。一番安心していいのが、この業者が地元を大切にすることであり、そこも含めて、議案を上程した。

【議案第73号】

可決

【議案第73号】

菊池市過疎地域持続的発展計画の策定について

内容 旭志地域が過疎の指定を受けたことから、過疎地域の持続的発展を支援することを目的として、菊池市過疎地域持続的発展計画を策定するもの。

質問 計画では多くの施策が記載されているが、この施策をしたから、旭志に住みましようというものがあまり見えない。商工業に関しても、キャッシュレス事業や創業支援事業など現在行っている事業が多く、例えば、旭志に住んだら固定資産税を3年間減免します等しないと、実際、旭志に企業誘致とか、人が移住するのかと思うがどうか。

答弁 計画に記載している事業は、旭志地域において、実施予定の予算を計上している事業や、中長期で試算している事業としている。住宅や

人口増のための施策などについては、今後予算化と同時に計画を変更して対応したいと考えている。

また、今回、過疎地域指定を受けたことにより、議案第61号で固定資産税の課税免除に関する条例の制定を上程している。

意見 地域の皆さんは、過疎指定を受けたから、過疎債で何でもできるようなイメージになってしまっている。

そこは行政主導型で、過疎対策として何が有効かを提案していただきたいし、要望にも応えていく必要があると考える。

そして、その中で過疎債を的確に入れて対応していくようお願いしたい。

福祉厚生常任委員会報告

委員長／緒方 哲郎 副委員長／泉田 栄一郎 委員／大山 宝治 平 直樹 工藤 圭一郎 木下 雄二

子ども議会

定例会・臨時会

委員会・分科会

一般質問

研修会・イベント

可決

【議案第60号】

菊池市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

内容 令和5年4月から、子ども医療費の助成対象年齢について、現行の中学3年生までから、18歳に達する日以後の最初の3月末までに拡充することに伴い、条例の一部を改正するもの。

質問 なぜ拡充するに至ったのか。

答弁 本市では、総合計画の中で、子育て支援を重点的な施策として捉えており、合わせてTSMC進出等に伴って、子育て世帯の移住・定住に効果があると考えている。

子育てしやすく、安心して子どもを産み、育てることができるという点において、子ども医療費の拡充は、有効だと考えている。

意見 世論や近隣自治体が行っているからという話もあるが、18歳まで医療費を助成することが、子育て支援、移住の抑制や定住の促進にはもって違う施策があるのではないか。

今回、若い人たちに聞いたところ、18歳までの医療費助成をお願いしたいという声が多かった。近隣自治体も先に行っており、やっておくべきだ。

今回、若い人たちに聞いたところ、18歳までの医療費助成をお願いしたいという声が多かった。近隣自治体も先に行っており、やっておくべきだ。



練習に励む高校生(菊池高校ボート部)

不採択

【陳情第3号】

太陽光発電事業の開発における要望書

内容 令和2年第4回定例会において、「迫間地区における太陽光発電施設についての陳情」が採択されたが、議会が改選され、太陽光問題も問題解決には至っていないことから、改めて陳情されたもの。

質問 陳情は、太陽光発電施設の撤去、及び雨水問題の早期解決についての要望ということでよいか。

陳情者 それに加え、太陽光の強度問題を調べてもらいたい。

質問 どこまでいけば問題解決とお考えなのか。

陳情者 全面撤去である。

質問 陳情書にある撤去の要望に対し、移設等の代替案の検討という部分を聞かせてほしい。

陳情者 代替案ではなく、全面撤去を望んでいる。

反対討論 全面撤去を望まれているお気持ちを十分理解した上で、採択することは、業者に対して委員会が全面撤去しなさいとの立場を示すことになり、行き過ぎている。ルール上難しい。

賛成討論 陳情者の、全面撤去への思いは、これまでの経緯等も含め、全面撤去でなければ承諾できないという気持ちになられているということでの意見だった。最終的には地域の人たちの命を守ることであり、現地調査や地域住民の意見を聴くような機会を設けていただきたい。

経済建設常任委員会報告

委員長／田中 教之 副委員長／猿渡 美智子 委員／本藤 潔 古田 浩敏 福島 英徳 二ノ文 伸元



【陳情第2号】 中小企業・小規模事業者支援に 関する陳情

内容 中小企業・小規模事業者に対する、DX導入・デジタル活用など生産性向上への取組に係る支援、及び創業支援の拡充について陳情されたもの。

質問 第二創業について、地元の声・ニーズはあるのか。

答弁 第二創業は、すでに事業を行っている個人または法人が、新事業・分野への進出を行うことであり、コロナ禍にあつては、こうした新事業等への進出を行う第二創業が増えてきている。

反対討論 コロナ禍の中で、大変疲弊している状況

は十分理解しているが、DX導入・デジタル活用など、生産性向上への取組に係る支援は、国の補助事業がある中で、自己負担分を市が補助するという陳情になっており、他市町村等が補助していない中で、菊池市が先頭切つて補助する状況にはないと判断する。

賛成討論 商工関係者が苦境の中にあつて、新しくこれから生産性を上げていきたいという思いを考えると、今後の新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金等の再交付があつたときなど、是非ともメニューの一つに加えるよう執行部として検討していただきたい。

特別委員会報告

令和4年第3回(9月)定例会において、新たな特別委員会の設置が決まりました。



【議事第10号】 菊池市政治倫理条例検討 特別委員会の設置について

【設置の目的】

議員及び市長等の政治倫理の確立を図り、もつて市民に信頼される清浄で民主的な市政の発展に寄与するために、現行条例の内容検討を行うため、特別委員会の設置を行うもの。

【今回の審査内容】

新たに設置された委員会であるため、正副委員長の内選を行い、議会へ報告を行った。

【設置の根拠】

地方自治法第109条、及び菊池市議会委員会条例第6条

【委員の定数】

10名

【調査期間】

設置の日から検討終了まで

【経費】

予算の範囲内

【正副委員長及び委員】

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 平直樹 |
| 副委員長 | 泉田栄一朗 |
| 委員 | 安武睦夫 |
| 〃 | 稲継智康 |
| 〃 | 島春代 |
| 〃 | 田中教之 |
| 〃 | 福島英徳 |
| 〃 | 緒方哲郎 |
| 〃 | 後藤英夫 |
| 〃 | 二ノ文伸元 |

予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

委員長／二ノ文 伸元 副委員長／福島 英徳

分科会長／(総務文教)後藤 英夫 (福祉厚生)緒方 哲郎 (経済建設)田中 教之 委員／議長を除く14名

子ども議会

定例会・臨時会

委員会・分科会

一般質問

研修会・イベント

可決

【議案第62号】

令和4年度一般会計補正予算

菊池産特別栽培米 学校給食提供事業 (債務負担行為補正)

内容 学校給食で使う精米は、毎年10月下旬に発注を行っており、令和5年度の精米を発注するため、今回、債務負担でお願いするもの。

質問 現在も七城小・中学校はこの特別栽培米を使用しているのか。

答 弁 現在も七城町は、この特別栽培米を学校給食会から導入している。

意見 令和5年度から、すべての小・中学校にこの米が行き渡る、とてもいい事業だ。安心安全な農作物の推進と移住定住の施策にも繋がるので、広報とも連携し、是非、アピールしてほしい。

意見 食育にも繋がってくるので、各学校での取り組みもしっかりやっていただきたい。



高齢者生活支援事業

25万円

内容 移動販売事業者への補助金として増額するもの。

質問 今回の予算は、JA菊池に今年度中の燃料費等の半分を補助するものだが、エリアは決定しているのか。

答 弁 現在協議中だが、過

疎地域、中山間地域ということで、旭志と菊池観光物産館がもともと回っていた範囲を予定している。

質問 他地域からも意見が出て来る可能性がある。

これまでは経済部の所管の中で運行していたが、今回は高齢支援課で予算が上がっている。将来的に福祉分野で担っていくのか。

答 弁 元来、高齢支援課が高齢者福祉ということで対応しており、買い物支援も含め、高齢者の生活支援を行っている。

移動販売は、第3セクターということなので、経済部で行っていたが、それ以外の買い物支援は、介護保険サービス事業の利用をはじめ、社会福祉協議会やシルバー人材センターと連携して行っていた。

また、買い物支援が必要な方は、さまざまだが、その中でも高齢者の割合が多いため、高齢支援課が引き継いで実施することとした。

鳥獣捕獲事業

25万円8千円

内容 本年6月に県より補助金の内示があり、増額するもの。

質問 高齢化が進み、新しく狩猟免許を取られる方が少ないと聞いたが、免許を取ることに関する費用はどれくらいかかるのか。

答 弁 費用は、免許取得費用に講習会受講等の費用を加え、3万円程度と聞いている。

質問 免許取得費用に対する補助金はあるのか。

答 弁 市の単独事業があり、新規取得の場合に限るが、銃、わな、いずれも1万円の補助を行っている。

予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

認定

【議案第67号】

令和3年度

一般会計歳入歳出決算の認定について

交通コミュニティ対策事業

質問 地方バス運行補助金が、5千万円程度出ている。予算では4千万円ほどであったが、増加の理由は。

答 弁 運行実績による増額である。

意見 運行補助金は年々増えている。あいのりタクシーをはじめ、コミュニティバスも抜本的に運行事業自体を見直さないと、結局、事業者の赤字分を補填しているみたいなので、厳しく精査する必要がある。

電算管理費

質問 ドライシーラーの保守委託をしているが、トラブルが多いと聞いている。保守の状況は問題なかったのか。

答 弁 年4回の定期点検保守を行っている。昨年度は、定期点検4回と、緊急保守として、紙詰まり等による保守点検を7月と10月の2回行っている。

併せて、本年度、ドライシーラーの更新を予定している。

※ドライシーラー
ハガキを圧着する機械

予防費

質問 令和2年度の決算と比較すると令和3年度は倍以上になっている。

予防費は政策的に予算を使うと、医療費を抑えることにつながる。コロナ関係の予算以外での、推移はどうか。

答 弁 各種健診事業は、令和2年度は健診の対象者を絞って行った。また受診控えもあったので、令和3年度が健診の受診者も増え、委託料も増加している。

予防費の他の事業は、令和2年度と令和3年度であまり変わらない。

歯科保健事業

質問 歯科検診は、目標に達しているのか。

答 弁 大人の歯周疾患検診は、なかなか受診率が上がらないことが課題である。

歯科医師と協議し、今年度より集団健診の中に、歯周疾患検診を組み込んでいる。



複合健診における歯周疾患集団検診

地下水対策事業

質問 水質検査の結果はどうだったか。

答 弁 地区によっては、硝酸性窒素の数値が下がっているとところもあるが、全体としては横ばいもしくは微増で、今後また調査を含めて、対策をしていかなければいけないと考えている。現在は、農政課と七城支所と環境課で、月3回パトロールを行っており、堆肥の撒き方がよくないところには、県から指導をしていただいている。

新型コロナウイルス感染症対策事業（商工業振興費）

質問 コロナ対策で、さまざまな補助金・交付金を活用され、大変助けられたところも多いと思うが、影響が長かったことから、令和3年度に廃業に追い込まれたという事業所はあるか。

答 弁 すべてを把握している訳ではないが、商工会から12件と聞いている。

質問 廃業された12件の業種は、飲食店が多かったのか。

答 弁 飲食店が半分程度と聞いている。

菊池一族プロジェクト事業

質問 菊池ファンクラブ事業補助金として約462万円は、安くない金額だと思いが、何名の会員がいるのか。

答 弁 令和3年度末で2004名である。

質問 現在の新たな目標値は。

答 弁 令和7年度までに1万人という目標を立てている。

意見 ふるさと納税にも直結すると思うので、是非とも力を入れてほしい。

予算決算常任委員会・分科会における議員間討議について

債権管理について

意見 債権調査を見ると、収入未済額が増えている部分もあるし、減っている部分もある。

所管課によっては、その債権に対する知識の差が見られ、債権管理課に任せきりなところもあり、きちっと徴収できるよう、研修も含め職員の質の向上を図り、少しでも債権が減るよう努力すべきだ。

債権管理の方法は、執行部として、再検討してほしい。

財政状況と事業の見直しについて

意見 一般会計の決算では、実質収支額は黒字であった。様々な要因がある中に、地方交付税が予算額から15億4111万6千円の増額となっているが、令和4年度は、7億7000万円ほど交付税が減額されるという話であった。

今回、黒字決算になっている

が、厳しい財政状況に変わりはないので、様々な事業の見直しを進めていただきたい。

また、各事業については、長期間に渡っているものもあるため、ビルドだけではなく、必ずスクラップアンドビルドでやっていただきたい。

※スクラップアンドビルド
新しい事業を行うには、同等の事業を廃止して行うこと。

有害鳥獣の駆除について

意見 予算が有効に、効率よく執行できるような案を、しっかりと考えていただきたい。

意見 今までやってきたことをやるのではなく、一年中を通じた駆除のやり方とか、いろんなやり方を考えていただきたい。

意見 予算の範囲内ということとでなく、近隣市町村のように補正をしても、数を減らす努力をしてほしい。

意見 森林環境譲与税等を有効活用し、重点的に、今年・来年とかで、個体を減らす取り組みをしていただきたい。



市営住宅使用料、及び上下水道使用料について

意見 現年度分は、かなり徴収率が高くなっており、努力されていることを感じた。

意見 市営住宅の収納率の99・8%というのは確かに改善されているが、連帯保証人が不明という居住者がいるので、きちんと手続きする必要がある。

予 算 決 算 常 任 委 員 会 報 告

歳入歳出決算に関する提言

予算決算常任委員会では、まず、総務文教・福祉厚生・経済建設の各分科会に、議案を分担付託し、審査を行いました。

その審査を踏まえ、委員会を開き、令和2年度歳入歳出決算の審査を通して、次の6事項を提言として取りまとめ、執行部に対して提出しています。



1 債権管理については、各債権の所管課の職員研修等を含め、職員の質の向上を図り、迅速な債権回収に努めること。

2 厳しい財政状況に鑑み、各事業の見直しを行うこと。見直しに当たっては、スクラップアンドビルドで行うこと。

3 福祉厚生分野において、少子化対策および、医療費抑制のため歯科検診をはじめ、予防に関する政策的予算を確保すること。

4 マイナンバーカードの普及について、現在行っている施策を継続しつつ、さらなる普及率向上のための取り組みを行うこと。

5 有害鳥獣の駆除については、近隣市町村と連携し広域的に、且つ1〜2年間を重点期間として、個体を減らす取り組みを行うこと。

6 市営住宅の管理については、条例に定める連帯保証人について、適正な手続きを速やかに進めること。

国に意見書を提出

少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書（概略）

提案理由 子どもたちのゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、教職員定数改善が不可欠である。

よって、関係行政庁に対し、意見書を提出するもの。

主な内容 国会及び政府におかれては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるよう、次の措置を講じられるよう強く要請する。

1 中学校・高等学校での35人学級の早急な実施。また、さらなる少人数学級の検討。

2 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種配置増等の教職員定数改善の推進。

3 自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わないこと。



平 直樹 議員

Q 有害鳥獣被害対策の現状と課題は。

A 農作物被害が増大しており人身被害等も懸念される。

Q 報奨金の交付実績は、本市の約400万円に対して、山鹿市、阿蘇市の現状は。

A 山鹿市は、通常の総捕獲数に対し全頭分を標準単価で交付し決算額は1,480万円。阿蘇市は、猟期内(11、3月)の捕獲は交付対象外、猟期外の捕獲数に対し全頭分を標準単価で交付し決算額は471万2千円である。

Q 報奨金交付要綱に「市民の住環境への影響」という文言をうたいこむ改正の考えは。

A 被害は、農林水産業に加え、人身被害



や交通事故の発生など深刻化しているため、状況調査等を行いながら検討したい。

Q 国によると報奨金の8割が特別交付金措置されるとの事なので予算額増額の考えは。

A 昨年度は、単価の高いニホンジカの捕獲頭数が倍増し予算を逼迫した。本年度は、ニホンジカの捕獲頭数が予算基礎の65頭を上回る分を森林環境譲与税を活用し補正予算を計上したい。

また、来年度は、今年度当初予算の報償金の額を決定した経緯により、400万円を基に計上したい。

その他の質問

- ・有機農業産地づくり推進について

Q 憩いの森公園の遊具の整備は。

A 利用者や住民のご意見等も伺いながら、計画を進めたい。



泉田 栄一朗 議員



憩いの森公園

Q 富の原の「憩いの森公園」周辺は、現在、住宅地の開発が進み子育て世代の家庭が増えることが予想されるが、児童の遊具を設置する考えがあるか。

A 地形を利用した樹木等と一体となった自然素材の遊具を選定し設置しているが、利用者や住民の方々のご意見等も伺いながら、必要な幼児向けの遊具の設置箇所や内容等を精査し、計画を進めていきたい。

買い物弱者への支援について

Q 4年間続いてきた移動販売車(きく丸号)が7月中止となったが、買い物弱者への対応と課題は。

A 移動販売は、中山間地や過疎地域を中心に引き続き支援を行っていきたい。

また、その他の買物支援についても、各種サービスの活用など周知を図り、支援したい。

有害鳥獣被害について

Q 近年の被害状況は。また、ジビエ加工処理場を作り菊池の資源とする考えはあるか。

A 先進地の取組を調査し、有害鳥獣捕獲協議会の皆さんと方向性について協議していきたい。

Q 国道325号の4車線化における今後の対応や考えは。

A 本市のまちづくりに重要な案件と認識している。



後藤 英夫 議員

Q T S M C や関連企業等の進出に伴うインフラの整備は。

A T S M C の進出は絶対の機会であり、これを住宅施策に生かすことは喫緊の課題である。今後も、民間の動向等、積極的に情報収集に努め、住宅建設を後押しする施策を講じたい。



国道325号(大琳寺交差点付近)

農業の持続的発展と産業力の強化について

Q コロナ禍・ロシアのウクライナへの軍事侵攻・円安で、

燃料・農業資材・輸入農産物価格の高騰が止まらないため、農家に対し思い切った施策が必要だが、その支援策は。

A 本市独自の「菊池市原油価格・物価高騰対策農業者支援金」により、30万円を上限として令和3年の農産物販売金額の100分の1を乗じた額を支援している。

市道の管理について

Q 高齢化社会の現在、地区による維持管理が難しいため、主要一級道路だけでも、常時作業員を配置し巡回を行い、不具合箇所や区長要望箇所は、すぐに対応する考えはないか。

A 危険箇所は、市で点検のうえ優先順位をつけながら、可及的速やかに対処するスタンスで臨んでいる。

Q 通常学級の中で特性のある子供への支援や教育はどうか。

A 必要と考えられる場合は、個別に支援を行っている。



島 春代 議員

Q 少子化が進む中で発達障害や特性のある子どもたちが増加していると言われているが、10年前からどれくらい増えているか。また、その支援における課題は何か。

A 10年前から129名増加し、2・6倍となっている。課題は、通常学級から特別支援学級へ移る等、その子の教育的ニーズに応じた学級に移るには、保護者・本人との合意形成が必要であり、保護者・本人が特別支援学級について理解し、合意形成に至るまでには丁寧な説明が必要である。

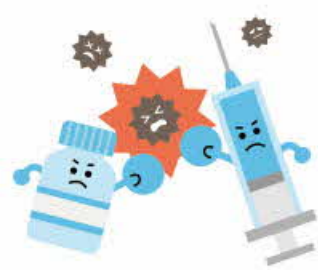


族内の意見の相違等から、話が進みにくいケースもあり、多くの時間を要することが課題である。

高齢者の肺炎球菌ワクチン接種について

Q 高齢者は肺炎にかかると重症化しやすい。肺炎球菌ワクチン接種の初回の定期接種には市から一部助成金があるが、2回目以降の任意接種も助成対象にできないか。

A 高齢者の肺炎球菌ワクチンの2回目以降の接種は、予防接種法に基づく接種とならないことから、助成を行う考えはない。





本藤 潔 議員

Q 有害鳥獣対策強化のため捕獲奨励金の増額はできないか。

A 予算の範囲内での交付になることを御理解いただきたい。



イノシシ(龍門地内)



ニホンジカ(水源地内)

その他の質問

- ・保育所等における災害発生時の臨時休園等について

Q ICTをなとシステムを連携して、捕獲情報を管理するICTを利用した活用方法も必要と思うが導入の考えはあるか。

A 国の補助事業では、ICTを活用した捕獲機材の導入経費も補助対象となっており、今後、有害鳥獣捕獲協議会と協議をしながら検討していきたい。
また、県が行っているAIカメラを活用した取り組み等、ICTを活用した情報を県と共有し、有害鳥獣捕獲に活用していきたい。

Q 菊池市公共施設等総合管理計画について個別施設計画を進めるうえで地元住民への説明やヒアリングに加えて、第三者に諮問して意見を聞く審議会の設置が必要と思うが市の考えは。

A きちんとした手順を踏んで、利用者の事情を酌みながら、コスト面も含め、丁寧な説明を行い、合意形成を図っていききたい。
現時点で第三者委員会等の設置は考えていないが、今後、推進していく中で、必要な事案等があれば、その際に検討したいと考えている。

Q 七城町の河川管理を突然委託に変えた理由を示せ。

A 継続的、計画的な河川の管理は困難となると判断したため。



福島 英徳 議員



迫間川河川敷



高田橋左岸

Q 落度なく河川管理を行ってこられた会計年度任用職員との雇用を突然打ち切り、全く実績のない市が事務局の補助団体と、1,665万円もの大きな金額で単独随意契約することは適切なのか。

A 指名審査会では、担当課より、菊池市七城ふるさとコスモスマつり実行委員会は商工会七城支部・区

長会等で構成され、七城地内の河川を熟知し、コスモスの植栽・管理を祭りと併せて行うことで、より一層の一体感を創出するためとの理由で、菊池市七城ふるさとコスモスマつり実行委員会と一者随意契約を締結したい旨の説明を受け、内容を審議し決定した。

Q 河川管理能力の把握もせず指名審査会に提案した担当部署。その提案を確認せずに単独随意契約を認めた指名審査会。菊池市長名で開示された資料が違うものであったこと。このような疑念が生じている事案について市長の考えは。

A 恐らく何らかの事務的な誤りがあったのではないかと考えられる。まずは事実を解明したい。



Q 以前から指摘していた事務処理ミスはあったのか。

A 軽自動車税において、督促状の誤発送等があった。

荒木 崇之 議員



Q 軽自動車税の納税証明書が多重発送や納税した人に督促状を発送するなどのミスが多発し市民に不信感を持たれているのに、市民への公表はおろか、議会にも一切報告しないのはなぜか。(同じ事務処理ミスをした所沢市は公表している)

A 事務ミス等に関する公表は、一定の

基準を決めている。実際には諸々のケースがあり、個々のケースごとに、その実態を検討し、公表するしないを決めている。今回の件は、担当部署が方針をつくり、それを関係部署と諮った上で、結論を出している。

保育園児の発達障害について

Q 発達障害が気になる子どもの相談窓口を一本化し、公認心理師を正規職員として雇用すべきと考えるが。

A 現在のところ、これまでどおり、会計年度任用職員として雇用することを考えている。



Q 本市の中学校における部活動の今後の取り組みは。

A 現段階では、今の現状で行っていきたい。

稲継 智康 議員

Q 令和2年9月にスポーツ庁より出された方針に対して、令和5年度からの中学校の部活動について、本市の今後の方針は。

A スポーツ庁は、令和5、7年度までを「休日の運動部活動の地域移行に向けた改革集中期間」、令和8年度からはできるところから実施としている。これは、あくまでも休日の部活動の地域移行を検討する期間とされており、部活動自体がなくなるものではない。平日の部活動は実施しますし、休日は移行できるも

のはするということであり、現段階では今の現状で行っていききたい。

本市の祭り・イベントについて

Q イベントの受け皿である各種団体のマンパワーが不足している中、今後本市としての取り組みは、各所団体とどのように行っていくのか。

A 市全体として、官は官の役割、民は民の役割があり、役割分担をしながら、みんなで盛り上げていくことが大事である。



その他の質問

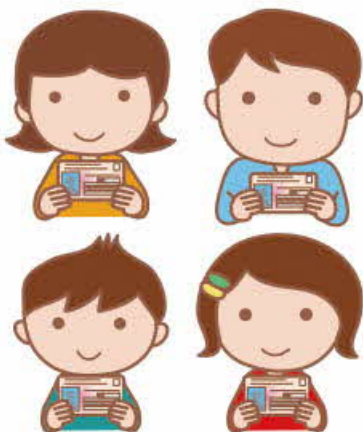
- ・ 公立保育園・市立小学校の給食費の徴収方法について



田中 教之 議員

Q デジタル化推進の状況は。

A 昨年、県内初となるデジタル化推進宣言を行っている。



その他の質問

- ・子ども家庭庁創設について

Q 菊池市デジタル化推進宣言について、具体的な宣言の内容は。

A 本市が「市民サービス」「自治体経営」「地域社会」のデジタル化を推進し、全ての市民が、いつでもどこでもデジタル化技術の恩恵を受けることで、効率的で利便性が高い、安心・安全の「癒しの里」きくちを目指し、令和3年10月1日に宣言したものである。

Q 今後のデジタル化への取り組みについて示せ。

A 国が示した自治体DX推進計画に含まれるシステム標準化への対応や市民サービスの向上、マイナンバーカードのさらなる普及促進、電子決裁システムの導入などを進めていく。

Q コロナ禍における農家経営安定について市長の見解は。

A 国、県、関係団体との連携を密にし取り組んでいきたい。



安武 睦夫 議員



ミルクングパーラー(擠乳施設)

Q 今後の乳価安定を見据えて官民一体となった「牛乳消費拡大キャンペーン」の考えは。また、公共施設に牛乳の自動販売機を置く考えは。

A 牛乳消費拡大キャンペーンは、各関係機関と協力し、支援していきたい。牛乳の自動販売機の設置は、メーカーや農業団体及び庁内で協議・検討したい。

Q 農業経営収入保険の掛金を市独自で3分の1補助する考えは。

A 国の森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業を活用しており、里山林の保全には効果的であるため、引き続き推進するとともに、森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度によって、里山林の保全にも取り組むたい。

Q 交通の妨げになる樹木や鳥獣害、自然災害を含め里山保全をどのような計画で進めるのか。

SDGs 持続可能なまちづくりと里山保全について

A 現時点で農業経営収入保険の掛金に対する補助を行う予定は無いが、今後も引き続き農業共済組合と連携して加入推進を行う等、加入者の増加に向けて協力していきたい。

Q 菊之池小学校の校舎の増築・改修等の進捗状況は。

A 本年度に設計を完了し、令和5年度中の完成を目指す。



緒方 哲郎 議員



菊之池小学校(図書室付近)

Q 設計や工事等の概要は。

A 現在の図書室の南側に新たな図書室を増築し、現在の図書室を教室として利用できるよう改修する計画である。
すでに設計業務に着手しており、今年度末までに完了させ、令和5年度に工事に着手し、令和5年度中の完成を目指している。

本市の農業について

Q 肥料高騰に対する支援の考えは。

A 国は肥料高騰対策事業を創設し、令和4年6月から令和5年5月に購入した肥料を対象として、化学肥料低減の取組を行った上で、前年度から増加した肥料代の7割を支援金として交付することとなった。本市では、本事業の活用について、JA等の各関係機関と連携し、積極的に推進していきたい。

Q 子ども議会の成果、もっとPRすべきでは。

A 今後、PRの方法を検討し、広く周知していきたい。



猿渡 美智子 議員

Q 今年度の子ども議会の質問から実現できることは。

A 「SDGsフェスティバルの開催」は、まず各小中学校からのSDGsへの取り組みの実践発表の場を設けたい。
「学校のバリアフリー化」は、今後、計画的に改修を進めていきたい。

「子ども医療費無償化対象の18歳までの拡充」は、令和5年度から実施したい。

「地域未来塾参加生徒のスクールバス利用」は、現行制度の範囲内で利用を認める。「ホテル観賞のためのマップ作り」は、今後、生徒や地域住

民の方と一緒に話し合いの場を重ねたい。

Q 子ども議会に高校生の参加も呼び掛けてはどうか。

A 検討課題の一つとして考えている。

Q 市政に若者の視点を反映するため、市の審議会に20代・30代の参画を進める考えは。

A 今後もワークショップへの若者や高校生の参加、プラチナ人財育成塾への中学生の派遣等、若者に社会的課題を自分事として考えることができる取組を一層進めていきたい。



子ども議会

その他の質問

- ・災害による断水時の生活用水について
- ・カーボンニュートラルについて

子ども議会

定例会・臨時会

委員会・分科会

一般質問

研修会・イベント



東 奈津子 議員

Q 校則についてガイドラインを示していくべきではないか。

A 改訂通知後、各学校へ周知し、必要な指導・助言を行う。



菊池北中生徒

Q 校則が社会問題となる中、国も校則の見直しについて手引書の改定に動き出した。「ブラック校則」とも呼ばれる不合理な校則の是正に向け、子どもの意見を反映し、必要性が説明できない場合、検証して見直すことが述べられている。ホームページ等での校則の公開も含め、市教育委員会としても、今回の改定を受けてガイドラインを示していくべきではないか。

校則は、各学校で児童生徒やPTAの要望を基に、年度始めの職員会議で協議し決めている。学校側が決めたルールを一方的に押しつけるのではなく、児童生徒が自主的に守ることができるよう、また、性的マイノリティやいじめ等の被害が出ないように、一人一人を大切にしたいルールづくりを行っている。学校によっては、生徒会役員と先生方で話し合いの場を設けたり、生徒総会で協議し、自主的にルールづくりを取り組んだりしている。

その他の質問

- ・学校給食の無償化について

Q 七城新古閑方面から国道に抜ける道路の改良は。

A ルートに関する関係区との協議を進めていきたい。



大山 宝治 議員



県道旭志鹿本線(新古閑地内)より、国道387号方面を望む

Q 七城地域の国道325号と国道387号を結び主要道路の接続は、消防署からの緊急車両が迂回せず直行でき、市民の生命財産を守り市内の渋滞緩和にも繋がる重要なことであり、早急な対応をお願いしたいがどうか。

A 平成30年度に七城区長会より要望書が提出され、令和元年度に概略設計を行い協議を重ねたが、全関係区の合意を得ることができず、現在、ルート決定には至っていない。当路線は、消防署より七城地区への緊急車両の通行に必要なアクセス道路とし

その他の質問

- ・本市の人口の推移について
- ・TSMCの進出について
- ・鴨川公園板井線のガードレールの設置は

て重要な路線と位置づけられており、今後関係区の合意がいただけるよう協議を進めていきたい。

ニヤクコソソ

Q 経営悪化に伴い、市行政改革大綱に基づく「重点見直し団体」に指定された第三セクター・七城温泉ドームのその後の状況は。

A 本年3月3日に、法人より経営改善計画の提出があり、市として経営状況を把握するとともに、さらなる経営改善に取り組むよう、本年4月より毎月モニタリングを実施している。

Q 公共施設等総合管理計画の子ども議会での指摘について。

A 丁寧な説明を行いながら、合意形成を図っていききたい。



木下 雄二 議員

Q 計画では、廃止の重味グラウンドを子ども議会で、ドクターヘリ発着所・災害時の避難所としての必要性を指摘されたが、対応は。

A 公共施設適正管理の必要性や市がたたき台として策定した個別施設計画の概要をお伝えし、丁寧に合意形成に向けた手続きを進めたい。



重味グラウンド

市第三セクター連絡協議会移動販売終了について

Q 移動販売車「きく丸号」が唐突に7月末で終了となったが、買物難民、高齢者の見守り役として地域に欠かせない事業だが、移動販売の復活は。

A 中山間地域、過疎地域の買物支援ということで実施する。他地域では、他の買物支援サービスの周知や活用を図り支援していきたい。

防犯灯・街路灯のLED化の状況について

Q 過疎化・高齢化の地域の防犯灯は、LED化による負担軽減も含め、最優先で取り組む必要性を要望してきたが、現状と今後の計画は。

A LED化率は、令和3年度末で48.3%となり、令和4年度末には59.2%になる見込みである。

その他の質問

- ・道路整備について
- ・エミュー観光牧場の現状と今後の整備計画について
- ・国道387号沿いの太陽光発電事業について

議会をインターネットで!

傍聴においでいただけない場合でも、いつでもインターネットで本会議の録画映像をご覧いただけます。菊池市のホームページより菊池市議会をクリックし、議会中継をクリックしていただく与会議録画映像を見ることが出来ます。使い方の説明も掲載していますのでご参照ください。

議会事務局

Tel 25-23325



菊池市議会HP
議会中継

菊池市議会 議会映像 検索

議長交際費を公表します

令和4年8〜10月分は、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議・イベント等が中止となったため、支出しておりません。



©2010熊本県くまモン

令和4年 第3回 臨時会

この臨時会では、令和4年度菊池市一般会計補正予算など2議案が提案され、審議の結果、原案のとおり承認・可決しました。

開催日：10月21日（金）

補正予算の主な内容は、菊池小学校 放課後児童クラブ整備事業において既存の体育倉庫を撤去した際、地盤に一部軟弱な地層があることが判明したことに伴う、地盤改良工事費など、予算を426万4千円増額するもの。

令和4年度

第32回

菊人形・
菊まつり

開催期間

11月1～15日

菊池市ふるさと創生市民広場を会場に、南北朝時代に活躍した「菊池一族」の勇壮な姿を再現した菊人形や、大輪菊の鉢植えや懸崖・盆栽・小菊など色とりどりの菊の花々が15日間わたって展示されました。開会式には、議長をはじめ、経済建設常任委員会が出席しました。

菊池市議会議長賞は、福嶋幸紀さんの『菊の盆栽』に決定しました。



経済建設常任委員会視察



菊池市議会議長賞：福嶋幸紀さん（左）



毎年、見に来てくれている「菊池ひかり保育園」の園児たち

菊池地域市町議会 議員研修会

■ 期日 令和4年8月9日

■ 場所 合志市文化会館

■ 講師 駐福岡台湾総領事
陳銘俊氏ほか

■ 演題 日台半導体協力の展望 ほか

菊池地域議会議長会が主催し、菊池市、合志市、大津町、菊陽町の議会議員研修会が行われました。

講演で陳総領事は、「台湾人はとても日本のことが好きで、台湾からは、毎年、国の人口の1/4にもなる人数が日本を訪れている」「経済では、日本の弱みは台湾の強み、日本の強みは台湾の弱み、お互いが協力し合えばもの凄い力を発揮する」等、お互いの信頼関係を構築していくことが必要であり、経済・文化・教育等の分野で交流をもっともっと盛んにしていくことが、大変、重要なポイントではないかと話されました。



日本遺産に関する 4市町合同議員研修会

■ 期日 令和4年8月10日

■ 場所 泗水公民館

■ 講師 菊池市教育委員会 生涯学習課
歴史教育専門員 西住欣一郎氏

■ 演題 日本遺産の現状について

菊池川流域日本遺産を構成する菊池市、山鹿市、玉名市、和水町の議会議員による合同研修会が行われました。

講演で西住専門員は、複数の自治体が絡む日本遺産の場合、事業やその展開が難しいが、菊池川流域の4市町は、議員をはじめ、自治体職員も勉強熱心で、広域的な連携もうまく取れている。

また、日本遺産に認定されたことがゴールではなく、今後、日本遺産となったことをどう保護・活用していくかが重要であると話されました。



熊本県市議会議員研修会

■ 期日 令和4年8月17日

■ 場所 熊本市民会館

■ 講師 シアーズホーム夢ホール
(株)ブランドレベル

■ 講師 代表取締役社長 田中元子氏

■ 演題 地域が元気になるヒント
〜過去でも未来でもない、いま目の前から考える〜

熊本県内の市議会議員の研修会が行われました。

講演で田中先生は、「1階づくりは、まちづくり」という考えのもと、地域の人々がまちの小さな主役になれるような空間づくり、施設づくり、まちづくりを手掛けていくと、まち、建物、施設の1階に、人々の居場所がたくさんある日常が生まれ、それが重なって、健康的にも経済的にも、地域に確かな豊かさをもたらしていくと話されました。



菊池市議会ボートチーム 『菊池ドラゴンズ』

菊池市議会では、竜門ダム(地域)の振興をはじめ、スポーツの振興、菊池市のPR等の観点から、毎年、ボートチームを編成し、練習を行い、大会に出場しています。

■ 菊池市民ふれあいレガッタ300m

8月7日に行われた大会には、泉田議員を監督に、田中・大山・島・古田・稲継・安武・本藤の議員8名で参加し、2分の壁を破り1分56秒で、5位入賞を果たしました。



チーム「菊池ドラゴンズ」

※議員チームの練習中、合宿中の大学生とのボート接触事故がありました。関係者の皆さまにお詫びし、今後の再発防止に努めますとともに、市民の皆さまにもご報告いたします。

■ 全国市町村交流レガッタ結団式



「菊池ドラゴンズ」 「チーム☆Kappa」 『ごちゃまぜ!!』

9月22日に、市長、議長、教育長が出席のもと、全国市町村交流レガッタへ出場するチームへの激励と結団式が行われました。

【男女混合】 菊池市スポーツ推進委員

ごちゃまぜ!!

【女子の部】 チーム☆Kappa

【議会議員】 菊池ドラゴンズ

菊池市議会議員研修会

■ 期日 令和4年8月22日

■ 場所 菊池市役所3階 大会議室

■ 内容 タブレット・Zoomの操作研修

菊池市議会議員の研修会を行いました。議会では、会議資料のペーパーレス化を進めていることから、まず、タブレットの活用について、事務局より説明を受けました。

また、オンラインによる委員会等への出席(規則に基づく)や、各種会議や研修会等への参加をスムーズに行うために、Zoomの操作方法等について、事務局より説明を受けました。

感染症の影響により、デジタル化が加速しています。が、一生懸命、技術の習得に努めています。



■ 全国市町村交流レガッタ
潮来大会500m

9月24・25日に茨城県潮来市で行われた大会には、出場者を選抜し、泉田議員を監督に、田中・島・古田・稲継・本藤の議員6名を派遣し、全国で12位の成績を収めました。

台風15号の影響により、24日の予選は風が強く雨の中のレースでしたが、2分45秒の自己ベストを記録しました。

25日の決勝は強風のため水上でのレースが中止され、経験のないエルゴメーターでの試合となりました。



全国12位(議会議員の部)
「菊池ドラゴンズ」

古田、稲継、泉田、水上議長、田中、本藤、島



1回全国市町村交流レガッタ潮来大
令和4年9月24日～9月25日

大会と並行して開催された議長懇話会に出席された、水上議長も応援に来られました。

また、一緒に参加した市民チームの成績も大変素晴らしく、悪天候の中、みんなで頑張りました。



1回全国市町村交流レガッタ潮来大
令和4年9月24日～9月25日

初出場ながら 全国11位(女子の部)
『チーム☆Kappa』

松永、楠木、武藤、立石、松嶋、神谷



全国市町村交流レガッタ潮来大
令和4年9月24日～9月25日

全国12位(男女混合の部)
菊池市スポーツ推進委員「ごちゃませ!!」

稲田、松野、原本、小林、松山、松田、清水

県消防操法大会
出場チーム激励

■ 期日 令和4年9月1日
■ 場所 菊池市総合体育館 北側駐車場

9月4日に開催の熊本県消防操法大会に出場する菊池市消防団の代表チームに対し、市議会を代表し、議長が激励を行いました。



市代表:第7分団(花房・戸崎)の選手・市消防団幹部の皆さん

県大会では、大変、素晴らしい『5位』の成績を収められました。選手をはじめ、市消防団の皆さまの日々の訓練に感謝いたします。

令和4年 第4回菊池市議会定例会日程の予定

| 月日 | 区分 | 日 程 |
|-------------------|-----|-----------------------------------|
| 11月29日 | 本会議 | 開会・開議・会期の決定 議案上程・提案理由説明 |
| (11月30日～12月4日 休会) | | |
| 12月5日 | 本会議 | 質疑・委員会付託 |
| 12月6日 | 委員会 | 予算決算常任委員会 |
| 12月9日 | 本会議 | 一般質問 |
| (12月10日～11日 休会) | | |
| 12月12日 | 委員会 | 常任委員会・予算決算分科会 (総務文教・福祉厚生・経済建設) |
| 12月13日 | | |
| (12月14日～15日 休会) | | |
| 12月16日 | 委員会 | 予算決算常任委員会 |
| (12月17日～20日 休会) | | |
| 12月21日 | 本会議 | 委員長報告・質疑・討論・採決 閉会 |

※この予定は、会期中に変更になる場合があります。

議会傍聴をお待ちしています！

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開かれ、行政に対する一般質問も行います。

日程や一般質問者等の詳細は、議会事務局にお尋ねください。また、3階の議場の傍聴席はバリアフリー対応となっておりますので、本庁1階のエレベーターで3階までお越しくください。皆様のお越しをお待ちしております。なお、各支所でも生中継をご覧くださいいただけます。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、入場に制限がある場合があります。



12月定例会は11月29日(火)に開会しました。

編集後記

世界中に激震が走った2022年も残りわずかとなりました。

今号では「子ども議会」を特集し、議場での若人中学生の弾ける笑顔を表紙に飾りました。

地域の課題を若者の視点で堂々と政策提言する姿に、未来を照らす、素晴らしい「地域愛」を感じました。

9月定例会では、特に決算審議において、市民の皆さまからお預かりした大切な税金を適正、公平、効率的に使用したか議論しています。

限りある本市の資源をどう配分していくか。今回の審議結果をよりよい形で来年度の予算編成に反映できればと考えています。

議会だよりを通じて、市民の皆さまに市政を身近に感じていただきながら、次世代に託す郷土の未来作りを進めたいと思っています。

これからも「議会だより」をどうぞご愛読ください。

議会広報特別委員 本藤 潔

※本号には、マスクを外した写真を掲載していますが、実際の議会ではマスクを着用しています。

委員長 / 泉田 栄一郎 副委員長 / 大山 宝治
委員 / 本藤 潔 安武 睦夫 古田 浩敏 島 春代

■議会広報特別委員会■